

2014年度第2回 日本学連臨時総会 議事録

開催日時：2014年(平成26年)12月7日(日) 15時37分～15時59分

開催会場：椈の湖オートキャンプ場(岐阜県中津川市)

【議題】

1. 議長選出
2. インカレスプリントについて
3. 大学院生の加盟登録について
4. インカレミドルBエリートについて
5. 次回総会について(その他連絡など)
※スキーO、インカレ女子選手権リレー、広報アンケートについて

【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名
宇井賢	幹事長	京都大学
佐藤大樹	副幹事長	東京工業大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
新粥文哉	事務局長	千葉大学
大久保宗典	会計	東京大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
五味あずさ	会計監査	金沢大学
久須美裕	北信越学連幹事長	新潟大学
今井祐太	東海学連幹事長	名古屋大学
糸井川壮大	関西学連幹事長	京都大学

【出席校】(21)

北海道、金沢、新潟、茨城、慶応義塾、相模女子、実践女子、十文字学園女子、千葉、筑波、東京、東京工業、東京農工、一橋、横浜市立、静岡、相山女学園、名古屋、大阪、京都、京都女子

【委任状】(11)

岩手、岩手県立、東北、宮城学院女子、福島、お茶の水女子、津田塾、日本女子、横浜国立、早稲田、奈良女子

議事録作成：高橋 秀明(広報部長・金沢大)

2014年度第2回 日本学連臨時総会 議事録

発言者(敬称略)		発言内容など
氏名	所属・役職	
		総会開始: 15時37分
		1.議長選出 今回の総会の議長に、田中 大貴(一橋大)を全会一致で選出した。
		2.インカレプリントについて
		インカレプリントをめぐる議論の流れについて確認したあと、正式開催が妥当かどうか採決を取った。その結果、インカレプリントを来年度以降、正式に開催することが決議された。 なお、インカレプリントに関するガイドライン、競技者配分、競技規則については、すでに示された案についての意見を募集し、今後議論して決定していくことが確認された。
宇井	幹事長	今回の総会では、最初にインカレプリントを正式に開催することについての決議を行う。そして、もし可決された場合、すでに周知したガイドラインや競技規則について、意見があれば出してもらいたい。なお、後日メールで意見を出してもらおうようにもしたい。
宇井	幹事長	ここまでの経緯を説明したい。昨年度のインカレミドルの前日にインカレプリント実験大会を行ったが、課題が見えてきたので、今年度のインカレロングの前日に再度、「試行大会」という形でインカレプリントを開催した。そして、「(幹事会内では)まだまだ決めるべきところはあるが、正式に発足してもよいだろう」という方針となった。来年度から、正式に開催することの決議を取りたい。決議の前に、どうしても言っておきたいことがある大学はないだろうか。 →特に意見は出されなかった。 →来年度以降、インカレプリントを正式に開催することが全会一致で可決・承認された。(出席校21校中、賛成21反対0)
宇井 栗本	幹事長 東京	ガイドライン、競技者配分に関する規則、競技規則について意見はないだろうか。 「ミドル・リレーの順番についての記述が今の案ではなく、それをわざわざ消した理由はないのでは」という意見が出た。また、電子パンチについては、(昨年度パンチングシステムに関する細則の廃止・変更により)Eカード以外の使用が可能となったが、SIIについてはバックアップラベルは存在しない。何らかの形でバックアップを取る体制を取ることを明記するべきだと思う。 また、「ディスクリプションをスタート枠で配布するのならば、プログラムもしくは掲示板においてその大きさを明記しておくことを書いておくべき」という意見があった。 あと、来年度の枠配分については、少なくとも、試行大会の結果に基づく配分はしないという話だったので、そのようにしないでほしい。
宇井 佐藤	幹事長 副幹事長	改めて意見を出してもらおう機会を設け、1月の幹事会で話し合い、3月の総会や議事録で議論の結果をお知らせしたい。 規則については、東京大が指摘したように、抜けがあるようなので、もう一度見直した方がよさそうだ。 →競技規則などについては、後日メールで意見を募集し、議論していくことが確認された。
		3.大学院生の加盟登録について
		佐藤より、大学院生の加盟登録についての意見が一部から出されたことが報告された。これらの意見を踏まえ、各大学内でさらに話し合ってもらおうこととなった。
佐藤	副幹事長	(この議題についての結論は)早く決めなければいけないが、参加者が少なく、基本的にはここで決めることではないと思う。資料を渡している。書かれている内容について、大学内で考えてきてほしい。今後も意見があったら、メールで知らせてほしい。
		4.インカレミドルBエリートについて
		インカレミドル選手権Bについて、廃止の是非を含めて、現在議論されている内容について宇井・佐藤より説明があった。総会直前に周知されている、大西より示された資料を基に、各大学内で議論してもらおうこととなった。そして、1月までに幹事長宛てに意見を出してもらい、幹事会で話し合っていくことが確認された。
宇井	幹事長	(現時点では)Bエリートが廃止されることが正式に決まったわけではなく、「Bエリートの在り方について、もう一度考えなければならぬ」と幹事会では考えており、最終的には、3月の総会で廃止するかどうか決議したいと考えている。
佐藤	副幹事長	昨夜、大西・技術委員長よりメールが届き、議論の経緯やこれからの議論の進め方について書かれている。メーリングリストに転送したので、それに目を通してもらい、意見を受け付けて、幹事会で議論して、3月の総会で決議をしたい。
宇井	幹事長	議事録などを読んで、「なぜ(Bエリートが)廃止される前提で話し合いが進んでいるのか」と思う人がいると思うが、それは廃止した場合について話し合っておかなくてはいけないためである。廃止しようとしているわけではなく、例えば、Bエリートで上位に入った人が枠に影響しているのは、どうなのか、とかいろいろ思うことがあるので、そこをしっかりと見直そうというところから始まっている。そのあたりについても、大西・技術委員長から文章が出されているので、目を通してほしい。

【大西・技術委員長より届いた資料】

選手権Bについて

廃止までのロードマップ？

2014年3月の幹事会で幹事に意見を聞き、7月に加盟員のみennaからアンケートという形でどう考えているのかということ意見を募集しました。

それをもとに11月の幹事会で再度話し合いを持ち、来年度のミドルから新しい制度でのインカレにすべく選手権Bをどうしていくかについて話し合いを行っています。

詳しいことは幹事会の議事録などを見てもらったほうがいいのですが、議事録も文章を読むだけだとニュアンスが誤解されたり議事録もわかりにくいところが多いと思います。

また、幹事会などで議論されていることを知らない加盟員も多いので幹事会での議論などを伝えるためにも議題として取り上げました。

まず過去の経緯としては予選決勝方式からミドル1本化が2009年度のインカレから施行されました。

その理由としてはインカレ運営の負担が非常に大きくなっており、1日に2レース行うことが運営者の負担となっており、それを解消するためのものでした。

昔は男子約180人と女子約80人から決勝が男子40名、女子24名を選びAfinalでミドルチャンピオンをきめるというものでした。

このときにB-finalといって決勝に残れなかった人が走るクラスが今の選手権Bの元となっていました

今なぜ技術委員会から選手権Bの廃止が提案されているのかというと、主な理由は以下の3つとなっています。

1、選手権クラスというのは選ばれた人が走るインカレでも一番注目されるクラスであり、それに対して頑張っている人が多いと思います。

そして、中間速報や演出においても一番力を入れて行われています。そういう意味でも選手権クラスが重要視されていると思うのですが、最近の選手権Bクラスにおいては扱いが一般クラスと変わらないようなものになってきています。

2009年に始まったときは選手権Bも学生側からの要望もありまったく同じコースで行われていました。

ただ、選手のレベルが違うためウイニングタイムに違いが出てきており、最後の回しを短くしたりと年々試行錯誤が繰り返され、そのたびに選手権Bの形が変わってきていました。昨年度においてはコースもほとんど違うものとなり、演出面でも一般クラスと変わらない扱いになっており、選手権Bというネーミングにおいてもこのままでいいのかという問題があります。

特に、昨年度のインカレの将来の提言にも書かれておりますが、選手権Aの特別感を出すためにあえて異なる回しにした事や運営者側でも選手権Bの扱いが難しくいろいろと形を変えて試行錯誤してきたことに対して5年たった今改めて考えてみてはどうかという時期にさしかかっており、インカレミドルをよりよいものにするために技術委員会からも提案を出して幹事会などでも議論が進んでおります。

2、枠を取る制度の矛盾が出てきていることも理由として考えています。まったく違うコースとなってしまった場合選手権Bクラスの上位を取った人数で選手権Aクラスの枠の数を決めるということが疑問です。特に選手権Aで枠を取ることの難しさと選手権Bで枠を取ることの難しさが同じではないのとレベルの高い学連ではある程度枠も多くそれでバランスが取れているのかもしれませんが、そうはいってもレベルの高い地区学連で選手権Aに落ちた人が結果的に選手権Bで上位を取る傾向があり、枠の少ない学連が枠を増やしくし組になっていると思います。その傾向は特に選手権Aの枠が少ない女子で顕著に見られました。

そういったことから選手権Bがあることで枠の数が少なく設定されており、適正な仕組みを保つためにも選手権Aの枠を増やすべきだと思っております。

3、そして、最後に選手権2クラスがあまり妥当でない点としてはタイムスケジュールや運営の負担的に2クラス分を演出して中間速報なども出すということが現状難しいと考えるからです。

今でも十分厳しいスケジュールの中選手権Bのゴールを選手権Aのように時間をとるということは厳しいことはわかつていますし、過去の経緯から見ても運営の負担が増すことは確実です。

2クラスできる余裕や学生の競技レベルの層の厚さがあれば2クラスというのも個人的にはありだとは思いますが、そこまでするほど運営側、選手側ともに現状は厳しいと感じています。

細かいところではこの選手権Bなどができた時は今よりも加盟員数が非常に少なくなっており、もともと24名だった女子の枠をさらに20名となっているのはその影響があったと思っています。

現在は加盟員も増えていて20名は少ないですね。また予選決勝方式だからこその少ない人数にしてより演出をしやすくするということことができましたが、地区セレでの偏りなどを考えるとある程度枠の数は多くしておかないと、地区によってレベルのばらつきが出てしまったり選手権Aに通過する難しさが高くなっているという問題があると思います。

結論としては今選手権Bをなくして選手権Aの枠を増やすというのが良いと技術委員会では判断しており、その制度で来年度ミドルをするべく議論を深めているところです。

アンケートをとらせていただいてそれを見たことを加味してもこの流れは妥当だと判断しています。

11月の議事録を読んで反対が多いのになぜ廃止なのかという話も少し耳にしましたが、議事録では賛成と反対の比率だけにしか記述がありませんが、実際には賛成側は理由がしっかり書かれていておおむね先ほど述べたようなことが多かったです。特に扱いが一般クラスと同じという点が

		<p>必要ないと思う理由として多かったように思います。 賛成意見の理由が多かった中に一部個人的に納得できないような理由も書かれてあったという記述が賛成理由には納得できないものがあつたという議事録になっていて多分読んでいて良くわからなかった人も多かったと思います。 反対の意見はあまり理由が書かれておらず主に3つ幹事会では触れていますが、いずれもモチベーションや選手権Bを目指している人がなくなるのに反対している形だったと思います。</p> <p>どういう形が良いのかという議論をしていく理由としてそれを目指してそれがなくなったら残念なのはありますが、反対理由としては弱いと思っています。そもそも選手権Bがない仕組みで行われればそれぞれが自分にあつた目標を見つけて頑張るだろうし。 選手権という名前にだけあこがれるのは違うと思います。選手権Aが演出などもよく一番目指すべき目標であるのは確かですが、新人なら新人のクラス、一般クラスなら少しでも良い順位を取るということを目標にするべきだと個人的には思います。</p> <p>以上のさまざまな点を総合的に判断して選手権Bは廃止していく方向が良いと思っています。</p> <p>各加盟校の渉外の方は今の話をなるべく大学へと持ち帰って選手権Bを残すべき具体的な意見やこれまでになくような視点からの意見があればその理由も添えて1月の幹事会までに地区学連の幹事長などを通して意見を出してもらえたらと思います。 また、賛成の意見でも上にあげた以外にもあればぜひ出してください。また技術委員会案よりもっといい仕組みがあるよという場合もどんどん理由つきで出していただければと思います。それを踏まえて幹事会で議論してさらに良いインカレの仕組みづくりを目指して生きたいと思っています。</p>
佐藤	副幹事長	<p>5.次回総会について(その他連絡など)</p> <p>【スキーOについて】 2016年にスキーOの第1回世界学生選手権が開催されることになっている。学連や学生にスキーOのことを認知してもらうためスキーOのインカレを開催してほしいというお願いが、全日本スキーO協会からあつた。今年度インカレを開催することは厳しい。 この話は10日ほど前に提案があつたばかりなので、まだ幹事会内で話し合うことができていない。報告のみとなる。 インカレの開催の是非については学生側に決める権利があるので、幹事会で話し合ってから、しっかり話すが、このことについて一応考えておいてほしい。</p> <p>【第62回総会】 ●開催日:3月9日(インカレリレー・後夜祭翌日) ●開催地:未定(別途連絡)</p> <p>【インカレ女子選手権リレーについて】 インカレロングの時の総会で議論した、「女子選手権リレー」についての報告が届いた。女子選手権リレーについては3区間等距離で行うという連絡が実行委員会から届いた。この報告については、幹事や河合会長の議論したメールと合わせて報告したい。</p> <p>【広報アンケートについて】 現在、広報紙「いぶき」などについてアンケートを実施している。14日を締切としたので、ぜひ協力してほしい。</p>
宇井	幹事長	
佐藤	副幹事長	
平野	事業	
高橋	広報	
		総会終了:15時59分

【備考欄】